

令和6年度 学校教育の重点目標

野木町教育委員会

◎学校教育の重点テーマ

「学びの連続性のための幼保小中連携強化」「言の葉指導の充実」と「ICTを活用した教育の充実」

<教育活動の中に生かす>

- ◎ 幼保小中の連携を強化し、能力向上と児童・生徒指導の充実を図る。
- ◎ 英語教育をはじめ、あらゆる教育活動の場面で語彙力を強化する。
- ◎ ICTを活用した教育の充実を図る。(GIGAスクール構想に基づく)

分野	重点目標	具体的な方策
学習指導	① 確かな学力の保障 ② 家庭学習の習慣化 ③ ICT機器の有効活用 ④ 英語教育の充実 ⑤ 小学校における食農教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習指導の根幹である学業指導の充実</li> <li>・ 新出用語を丁寧に扱うことによる確実な意味理解（学習用語を使って説明する活動を設定する）</li> <li>・ 振り返りを重視し、単位時間に具体的な形で実施（ねらいと明確に示し、振り返りとの一貫性をもたせる。）</li> <li>・ 単元内で形成的評価の実施・点検→学習内容の確実な定着（「指導に生かす評価」と「記録に残す評価」と計画的に実施する。）</li> <li>※ 探究的学習を積極的に取り入れる。（小学校における食農教育の研究も生かす。）</li> <li>・ 課題提示学習と自主学習のバランスよい実施（自主学習の方法と具体的に指導する。）</li> <li>・ 読書の推奨（習慣化）に向け学校と家庭の連携</li> <li>・ 学力向上に向け、児童生徒がタブレットを効果的に活用（GIGAスクール構想に基づく）</li> <li>・ 授業中の有効活用の研究促進（注）活用することと目標にしないこと。</li> <li>※ プログラミング的思考の育成につなげる。</li> <li>・ A L Tを活用した言語活動の充実（意味ある文脈の英会話で豊富な語彙を使用する。）</li> <li>・ 小学校：Small Talk の充実</li> <li>・ 中学校：All English 授業の実施</li> <li>・ 食農教育プログラムに基づく体験活動の実施</li> </ul>
児童生徒指導	① 不登校児童生徒の減少 ② 「いじめ」件数の減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 問題行動等は「いつでも、誰にでも、起こりうること。」と認識する。（全職員が共通認識のもと指導にあたる。）</li> <li>・ 安心感を味わえる授業及び学級経営と部活動経営</li> <li>・ 自己指導能力の育成（生徒指導の3機能：共感的理解、自己存在感、自己決定力を意識して指導する。）</li> <li>・ 幼保小中での情報共有による児童生徒理解</li> <li>・ 小中連携したいじめ撲滅会議の実施と校内いじめ撲滅集会の実施</li> <li>・ いじめの早期発見と解決に向けた教育相談の充実（校内いじめ対策委員会機能の充実）</li> <li>・ いじめ防止対策基本方針の点検と校内での共通理解</li> <li>・ 情報モラルの徹底指導</li> <li>・ 家庭との密なる連携と情報共有</li> </ul>
特別支援教育	① 個のニーズに応じた指導体制 ② 様々な障がいに対する理解と対応の研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別の教育支援計画の作成と指導体制の確立及び引き継ぎの充実</li> <li>・ 相談体制の整備と関係機関との連携</li> <li>・ 自立活動の充実</li> <li>※ 月一回は成長と課題を話し合う場を設け、成長と課題を確認する。</li> <li>・ 障がいの理解と個性のよさの伸長</li> <li>・ 個に応じた多様な対応に向けての研修の充実</li> </ul>
健康・安全	① スポーツ交流の促進 ② 基礎体力の定着 ③ 食育の推進 ④ 新たな課題を想定した防災、安全計画の見直しと共通理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツを通じた学校間交流（部活動などでの交流を図る）</li> <li>・ 体力、運動能力テストの結果を生かし、各自の課題解決（運動量を充実させる。）</li> <li>・ 食料の生産から摂取、選択更には食環境、文化等の指導の充実（地産地消を意識し、栄養士等を中心に指導の充実を図る。）</li> <li>・ 食物アレルギー対応マニュアルを基に児童生徒のアレルギーへの対応</li> <li>・ 地域と連動した計画に基づく実践（職員の役割の明確化と共通理解）（子どもの安全確保を最優先にする。）</li> <li>・ 家庭防災会議の啓発と子どもへの災害対応指導の徹底（Jアラート対応を含めて）</li> </ul>
心の教育	① 「礼儀正しい野木町の子どもたち」の育成 ② 道徳的実践、体験学習の重視 ③ 読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あいさつ、返事、ありがとう運動（元気なあいさつ、返事は野木っ子の伝統と誇りです。）</li> <li>・ 豊かな体験活動や学習を通して、道徳心や規範意識の涵養</li> <li>※ 「考え、議論する道徳」の授業展開と評価等と工夫する。</li> <li>・ 図書館司書を有効に活用し、学校図書館の利用拡大</li> <li>・ 学級文庫の充実と家読の推進</li> <li>・ 読書の時間の確保と読み聞かせの実施</li> </ul>
教師力向上	① 授業力、学級経営力の向上 ② 力を磨く、自己研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校内研修の工夫改善（外部指導者等も活用）</li> <li>・ ICTを活用した授業研究会の実施</li> <li>・ 教職員の異校種間交流（他校の授業研究会へ積極的に参加する。）</li> <li>・ 各種研修会への積極的参加</li> <li>・ 授業におけるICT活用能力向上</li> <li>・ 小学校教師は英語力向上</li> <li>・ 中学校教師は評価方法の工夫</li> </ul>